発行№１６０号 無限の可能性を追求する青春金物店 日本一金物 発行月日 平成２２年3月２０日

皆さんお元気ですか？「まいどうさん」も一六〇号と、随分長い間、書き続けてきたものだと、自分でも感心しています。

空港などでチョット待ち時間などあると書店に寄って見る。そう、たいして時間がないのだから題名と、中身を、ぱらぱらと捲って見るだけだ。先日も「まいどうさん」に載せて見たいような本があったので購入した。著作権とよく言うが、ある人の話では別に写しても利益を得る為でなければいいらしい。

買った本が記憶になぜか残っていたような気がしていたが、時間もなくなったので、購入し、機内で読み始めると、以前に買った本とまったく同じ本を買ってしまったのだ。

家にあった本の表紙には「今日この一日、いかに燃えて生きるか！」買った本には「いかに“やる気”を起こすか！」作者が同じだけれど、表紙のデザインが少しだけ違っていたが中身はまったく同じだった。よく中身に目を通さなかったのが悪いのか、同じ本を買わせるような仕組みなのか、その辺は定かではないが、まったく寸分違わぬ同じ内容の本なら表紙もまったく違わぬようにして欲しいものだ。

発行年月日を見ると前の買った本が１９９８年とあり後の方が２００４年となっており表紙には「Ｂ」と書かれているので間違ってしまったのだ。

今後は旅行時前に機内等で読む本は、数日前から購入しておくべきかもね。

「まいどうさん」１号からホームページに載せました。パスワードは（maido）にしめるかも？。

１９３４ーです。開いて見てください。楽

編集者

追想…昭和四十一年九月、商売を始め四年目にして新居を建て一家六人、借家と間借り二世帯生活から脱出。千代ヶ岱町から、中島町へ転居する。（現社長二歳）

とんとん拍子に売り上げか伸び、棟続きの隣家を購入。すぐ義弟に配達と鋸目立の習得にと雇う。また、鋸目立の技術を是非と頼まれて中学出の見習いも雇うことになり、四十八年の父が逝くまで店も順調な伸びを見せた。

その頃、建築大工さんの全盛期、電動工具も良く売れ、旅行に出かけた。左の写真は、メーカーさんの招待で道東を廻ったときの写真だと思うが、旅のことより店のことを心配して、顔が曇っていた、そんな記憶が残っている写真だ。父の跡目を継ぎ天から授かった生きるコースの変更に感謝しているが、無口な父にもっと質問して何かと聞いておけばと…後悔は残る。

農家の次男だった父は小学六年を終えて、単身、山形県から釧路の鋸製作所に丁稚として渡った。握り飯、五個と、渡されたお金は、聞いた旅の飯代位だったという。駅に迎えはなく、聞いたづてに鋸所の門を潜ったとか…四～五年は子守や掃除に明け暮れたとか、母親が慕しく、毎夜涙に明け暮れた。そんな思いより残ってかいないとも言っていた。両親のことは語らなかったが、親は丁稚に出したときから親子の縁は切ったくらいに思ったのでは、とも言ってた。十数年後、母親の死は十日位経ってから知らされたと言う。

昭和九年函館大火後に単身釧路から来函。鋸目立て、腕一本で義祖父母と子供六人を、戦中戦後の動乱期に養ってきた父の偉大さに、頭が下がる思いがする。

Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL
㈱北海道日立
函館支店
函館市西桔梗町 858-5 TEL48-6411

makita
ヒーマンハードウエアの
㈱マキタ函館営業所
北斗市七重浜 7-3-12 TEL49-9273

MAX
使う人の声を製品にする
マックス
札幌市中央区大通り東6丁目12-18
TEL(011)261-7141